

高槻メディア・リテラシープロジェクト（高槻MLP）始まる

2006年9月1日

日本では、公的な学校教育システムのもとでの系統的なメディア・リテラシー教育はいまだに実施されていない。実施はあくまで個々の教員や教育委員会単位での個別の事例に留まるのみで、行政レベルにおいてメディア・リテラシーを推進する動きはなく、メディア・リテラシーを備えた新しい市民を育成するためには市民の側から能動的に取り組んでいくしかない。FCT メディア・リテラシー研究所は、2006年度より高槻市立富田青少年交流センター(*)から研究委託を受けて、コミュニティ内の中学校で働く教師たちに対してメディア・リテラシーについて学ぶ場を提供し（1年目）、その教師たちが勤務する中学校で系統的なメディア・リテラシー教育の実践をめざす（2年目以降）、という3年がかりの研究プロジェクトである高槻メディア・リテラシープロジェクトに参加することになった。このプロジェクトを通じて、当該コミュニティの中学生たちが、メディアを批判的に分析する能力にとどまらず創造的にコミュニケーションをつくりだすようになることを目標にしている。

上記のようなプロジェクトの構想のもと、第1回目の研究会（2006年5月16日）、第2回研究会（2006年6月12日）を開催した。2回の研究会には、コミュニティの保育所、幼稚園、小学校、中学校、近隣の高校教師たち、青少年交流センター職員が参加した。第1回目の研究会では、プロジェクトの目的を共有し、今後の計画について議論した。さらに、メディア・リテラシーの学びの場を体験するために、メディア・リテラシーワークショップを行った。2回目でも引き続きメディア・リテラシーワークショップを行った。今後、中学生のメディア環境調査についても協議をしていく予定である。

2回の研究会を経て、第3回研究会を8月8日—9日に開催した。今回は、集中的にメディア・リテラシーを学ぶ、という構想で内容面を企画し、高槻市広報を使用するなど広く呼びかけた。その結果、小学校、中学校、高校教師、高校生、保護者、他市の行政関係者、大学生など幅広い参加者が集まり、次のような評価があった。「時間が経つのを忘れてしまうくらい充実した、楽しい講座」「高校で授業するにはこうしたらよいか、思い浮かべながら参加しました」「日頃、無意識に無防備にメディアの流す情報に接しているなと感じました」「何度過参加していますが、映像言語を書き出すのが精いっぱいでも今後も継続して学んでいかねばと思いました。また講座を開いてほしいです」（参加者アンケートより）。プロジェクトでは、講座の反応をふまえて今後も高槻市立富田青少年交流センターと協議しながら、中学校での実践を展望しつつ地域での学びを活性化するための研究を行っていきたいと考えている。

(*)富田青少年交流センターは高槻市全域の若い人たちを対象に学校外の教育活動を支援している。同センターではこの数年、メディア社会を生きる若い人たちにとってのメディア・リテラシーの重要性に着目し、年に数回の市民講座を開催している。FCT メディア・リテラシー研究所は、これらの市民講座にも企画面で協力してきた。

●第1回目研究会概要

日時：2006年5月16日 17:00～19:30

場所：高槻市内の中学校

参加者：26名

1. 主催者挨拶
2. プロジェクトの目的について
3. FCTメディア・リテラシー研究所から挨拶
4. ワークショップ「メディア・リテラシーの学びを体験する」
使用テキスト：トリノ五輪開会式報道
5. コミュニティにおけるメディア・リテラシー活動の組み立てと2006年度の計画について
6. 中学生のメディア環境調査原案について
7. プロジェクト開始にあたって、プロジェクト協力校校長より挨拶

●第2回研究会

日時：2006年6月12日 17:30～20:00

場所：高槻市立富田青少年交流センター

参加者：13名

研究会内容：

1. メディア・リテラシーの基本概念についての説明
2. ワークショップ：CMの映像言語と価値観
使用テキスト：長野五輪コカコーラCM
3. 中学生のメディア環境調査について：高校3年生を対象にした予備調査結果報告より

●第3回研究会（メディア・リテラシー夏季連続講座として実施）

日時：2006年8月8日・9日

場所：高槻市立富田青少年交流センター

参加者：両日とも25名程度

内容

8月8日（火）

セッション1. 「メディア・リテラシー」をどう学ぶか（13:30-14:45）

- ・本講座の趣旨について主催者より説明
- ・なぜメディア・リテラシーなのか/メディア・リテラシーとは/学びのリソース
- ・KC1～8について

使用テキスト：『新版 Study Guide メディア・リテラシー入門編』第1章、

メディア・リテラシー研究所インターネットサイト <http://www.mlpj.org/>

休憩 2時45分—3時（会場移動）

セッション2. ニュース報道はどう構成されているか (15:00-17:00)

- ・ テーマ: スポーツとメディア
- ・ 分析テキスト: ワールドカップのニュース報道 (日テレを中心にNHKも)

参考: 『新版 Study Guide メディア・リテラシー入門編』 第5章

8月9日 (火)

セッション3. CMのターゲット・オーディエンスとは何か (13:30-15:00)

- ・ テーマ: コマーシャルの映像言語、ターゲット・オーディエンス
- ・ 分析テキスト: ワールドカップ中に録画したCM2本 (アケリアス、フリースタイル)
- ・ 中心となる基本概念: 4、7を中心に5も

参考: 『新版 Study Guide メディア・リテラシー入門編』 第3章

休憩 15:00-15:20

セッション4. 広告がつくりだす文化 (15:20-17:00)

- ・ テーマ: 広告文化、価値観、商業化
- ・ 分析テキスト: 清涼飲料CM10本
- ・ 中心となる基本概念: 5、4、6

参考: 『新版 Study Guide メディア・リテラシー入門編』 第3章

(高槻メディア・リテラシープロジェクト 森本洋介、矢竹秀行、藤井玲子、西村寿子)